

当局では、平成29年度の「食」分野における重点取組について「輸出促進」、「生産性向上」に関する事業を中心に実施します。

1. 現状の課題

「国内の人口減少社会」において、**需要面では国内の食市場は縮小**します。また、供給面では、担い手不足の中、GDP（国内総生産）を増加させるためには、**生産性の向上**が必要となります。

2. 課題解決に向けた戦略

【戦略1 食の輸出促進】

- 世界市場を攻めるために、地域における波及効果大きい「**地域中核企業**」が実施する「**輸出促進**」プロジェクト6事業を支援。
- 「**地域商社機能の強化**」や「**付加価値向上**」の取組により、アジアを中心に輸出を積極的に展開。

【戦略2 食の生産性の向上】

- (1) **農工商等連携促進法および地域資源活用促進法**
食の生産性向上を図るために、**付加価値向上（新商品開発・販路拡大・地域資源の活用）**や**省力化（機械化・IT化）**の取組を重点的に支援。
- (2) **人材育成**
岩見沢農業高校のグローバルGAP取得をモデル事業として、輸出拡大等に必要**なグローバルGAP取得を目指す人材育成**に繋げる。

3. 取組事例

【地域中核企業による地域商社機能の強化】



【道産食品の付加価値向上】

生産量日本一 名寄産もち米の産地ブランド化に向けた新商品開発、製造、販路開拓事業 (ふるさと名物応援事業補助金 農工商等連携促進法認定事業)



名寄産もち米100%と函館産イカ「もちりいかめし」
 名寄×函館 お互いの強みが融合 夢のコラボにより強力な商品が完成！



強固な連携体が地域間連携商品の企画・開発のノウハウを活かして、産地のブランド化に繋がる画期的な新商品の開発・販売を強力に推進。

- 【連携体】 (農林漁業者) 道北なよろ農業協同組合 (農業)
 (中小企業者) (株)名寄振興公社 (宿泊業)
 (連携参加者) (有)サンフーズ (食料品卸売業)・名寄市役所・(一財)北海道食品開発流通地興

4. 目指す姿

以上の取組により、**道内の「食」関連産業の「稼ぐ力」**を強化し、政府目標である「農林水産物・食品輸出額：1兆円（2019年）」等につなげてまいります。